個人投資家さま向け
会社説明会

2023年2月

この挑戦が、未来となる。
ちゅうぎんフィナンシャルグループ

証券コード：5832　（東証プライム）

ご説明内容

1．ちゅうぎんフィナンシャルグループの概要 P.3

2．業績・株主還元 P.9

3．経営戦略 P.15

4．トピックス P.32

１． ちゅうぎんフィナンシャルグループの概要

１．ちゅうぎんフィナンシャルグループの概要　プロフィール

この挑戦が、未来となる。
ちゅうぎんフィナンシャルグループ

グループ経営理念	地域・お客さま・従業員と分かち合える豊かな未来を共創する
経営ビジョン	地域のお客さまに「選ばれ」「信頼される」総合金融グループ

名称	株式会社 ちゅうぎんフィナンシャルグループ
設立	2022年（令和4年）10月3日
創立 （中国銀行）	1930年（昭和5年）12月21日
所在地	岡山県岡山市北区丸の内1丁目 15番20号
代表者	代表取締役社長 加藤貞則
資本金	160億円
従業員数	4,748名（連結）
格付	A2　（Moody's） A+（格付投資情報センターR&I） （中核銀行である中国銀行の格付）

（2022年12月31日時点）

中国銀行の単独株式移転による完全親会社として設立

（本社概観）

１．ちゅうぎんフィナンシャルグループの概要　組織体制

株　主

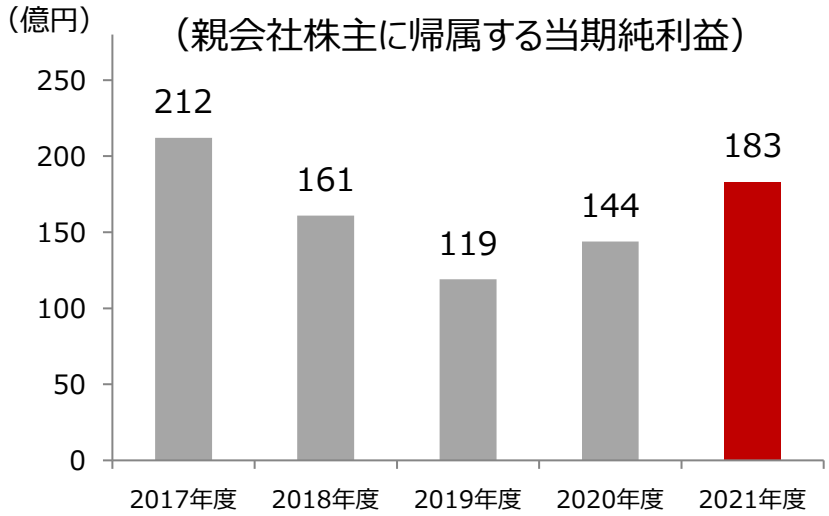
株式会社 ちゅうぎんフィナンシャルグループ
CHUGIN FINANCIAL GROUP, INC.

- 中国銀行
  - 中銀保証
  - CBS
  - 中銀事務センター
- 中銀リース
- 中銀カード
- 中銀アセットマネジメント
- 中銀証券
- せとのわ
- ちゅうぎんキャピタルパートナーズ
- ちゅうぎんヒューマンイノベーションズ
- Cキューブ・コンサルティング

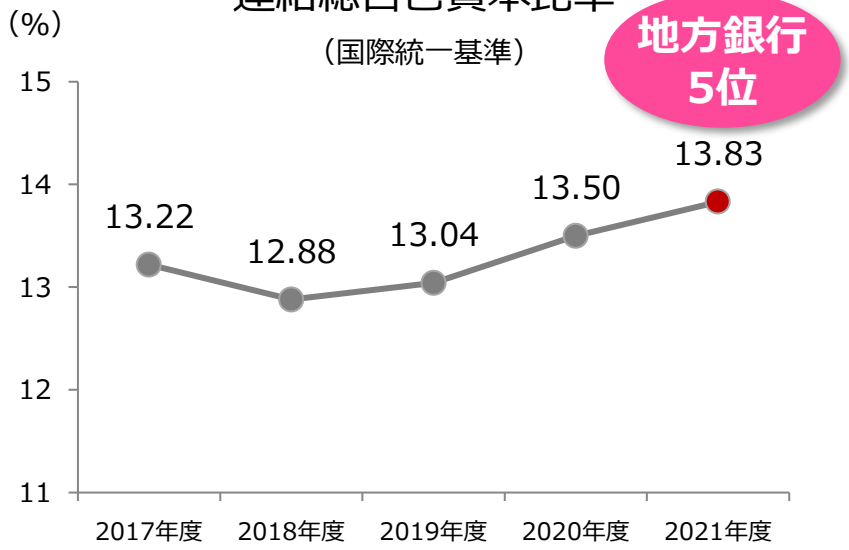
１．ちゅうぎんフィナンシャルグループの概要　財務ハイライト

この挑戦が、未来となる。
ちゅうぎんフィナンシャルグループ

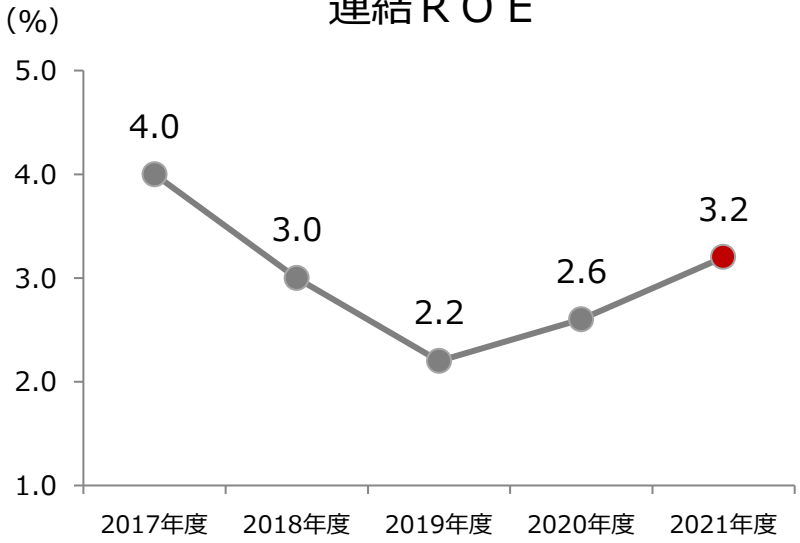
連結当期純利益
（親会社株主に帰属する当期純利益）



連結総自己資本比率
（国際統一基準）



連結ＲＯＥ



株式時価総額

地方銀行
14位

1,742億円

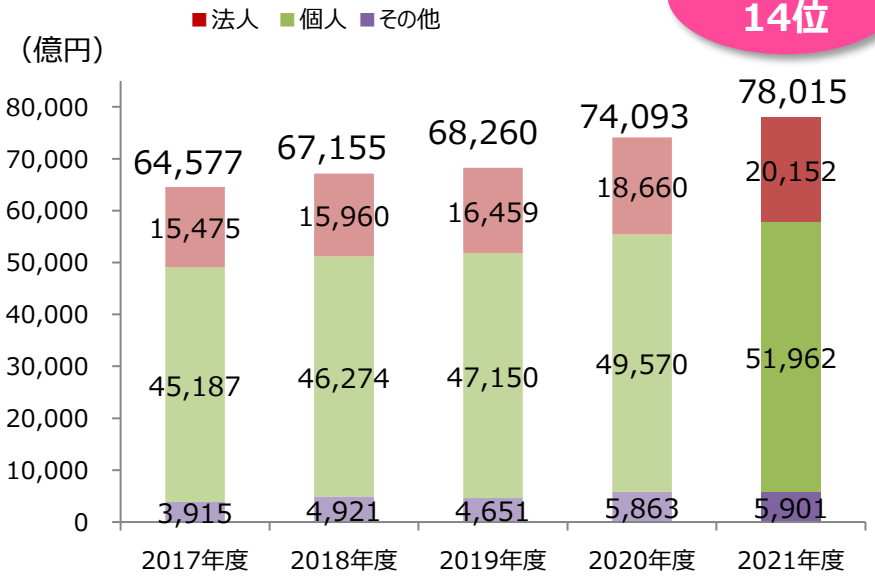
2023年１月末現在

１．ちゅうぎんフィナンシャルグループの概要　財務ハイライト

この挑戦が、未来となる。
ちゅうぎんフィナンシャルグループ

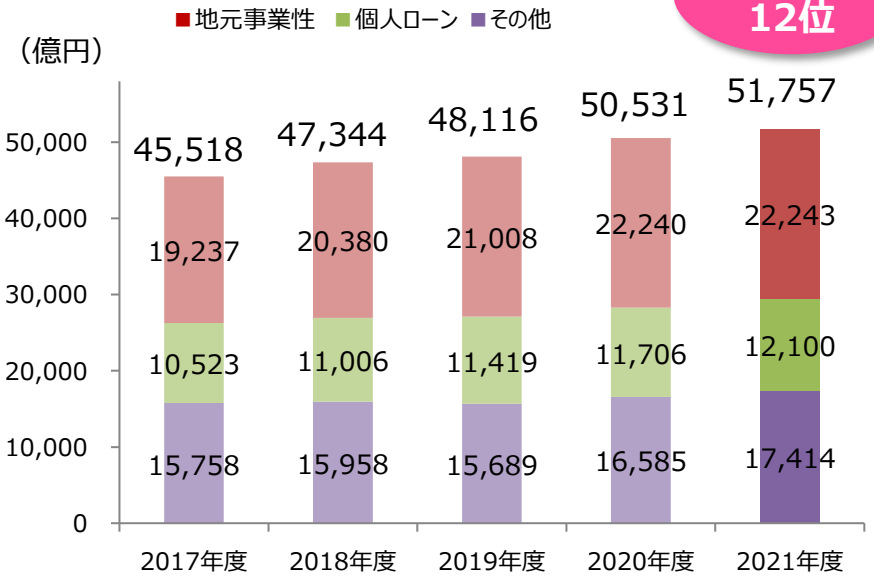
預金平残

地方銀行
14位



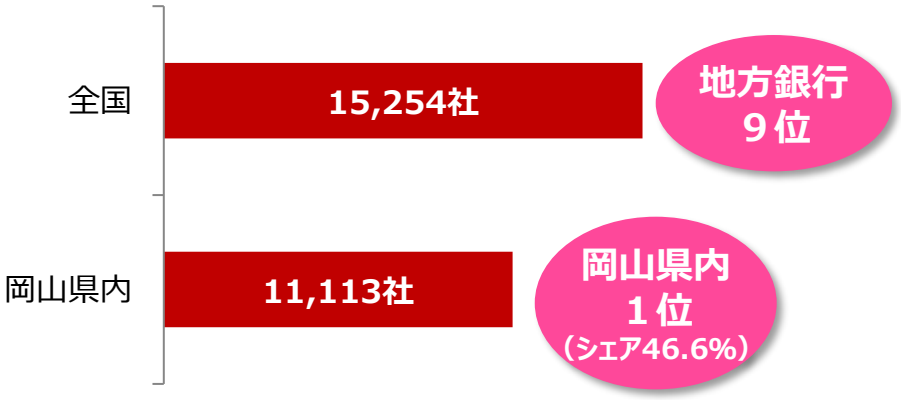
貸出金平残

地方銀行
12位

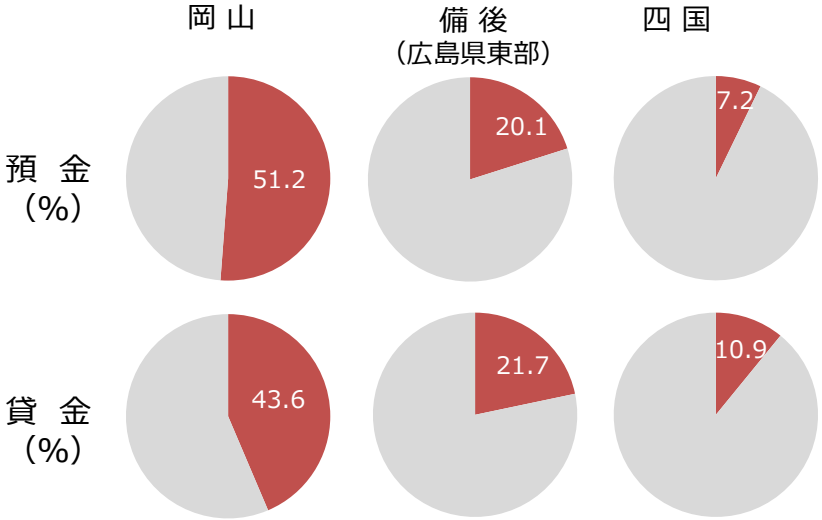


当行メインバンク社数

出典）帝国データバンク2022調査より



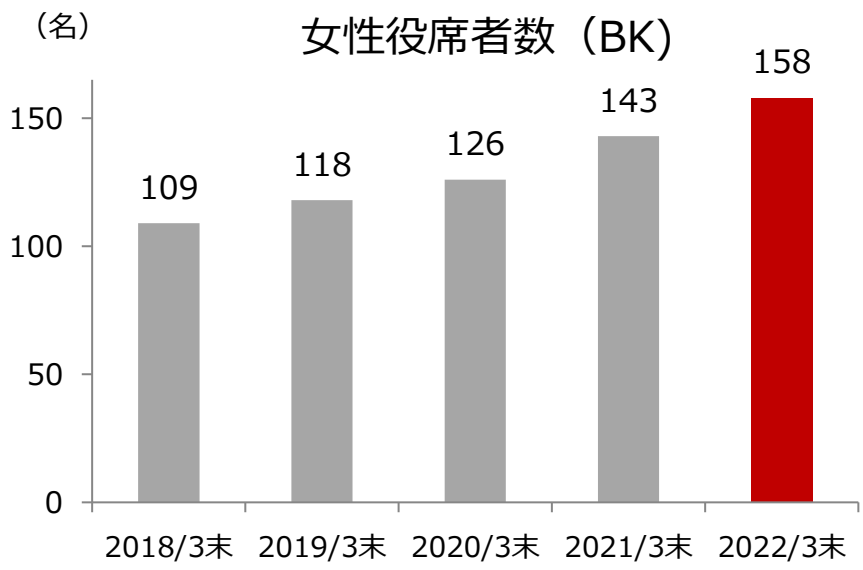
地域別残高のシェア（2022年9月末）

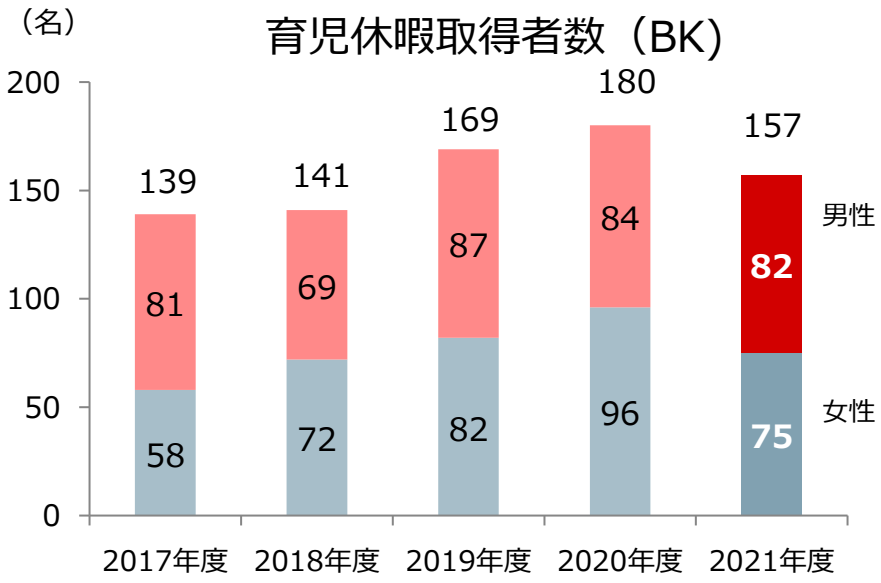


1．ちゅうぎんフィナンシャルグループの概要　非財務ハイライト

公的資格等取得者数（2022年3月時点）

FP1級	225名	弁護士	5名	中小企業診断士	52名	基本情報技術者	117名
FP2級	2,453名	公認会計士	2名	証券アナリスト	63名	応用情報技術者	44名





２．業績･株主還元

2．業績・株主還元　業績推移

中国銀行

（億円）

【連結】	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	前年比
連結経常利益	**309**	**236**	**174**	**212**	**258**	**46**
親会社株主に帰属する当期純利益	**212**	**161**	**119**	**144**	**183**	**39**

【単体】

コア業務粗利益	**795**	**770**	**747**	**763**	**802**	**39**
資金利益	662	630	582	588	616	28
役務利益	146	148	158	156	171	15
その他業務利益	▲ 12	▲ 8	6	18	15	▲ 3
経費(▲)	556	542	540	527	519	▲ 8
ＯＨＲ（=経費÷コア業務粗利益）	**69.9%**	**70.3%**	**72.2%**	**69.1%**	**64.7%**	**-4.4%**
コア業務純益	**239**	**228**	**207**	**235**	**283**	**48**
除く投信解約損益	**222**	**217**	**206**	**234**	**283**	**49**
与信費用（▲）	▲ 17	41	56	80	76	▲ 4
有価証券関係損益	20	25	▲ 5	50	30	▲ 20
その他	2	6	7	▲ 15	▲ 2	13
経 常 利 益	**279**	**219**	**154**	**190**	**234**	**44**
当 期 純 利 益	**194**	**153**	**108**	**130**	**169**	**39**

2．業績・株主還元　業績予想

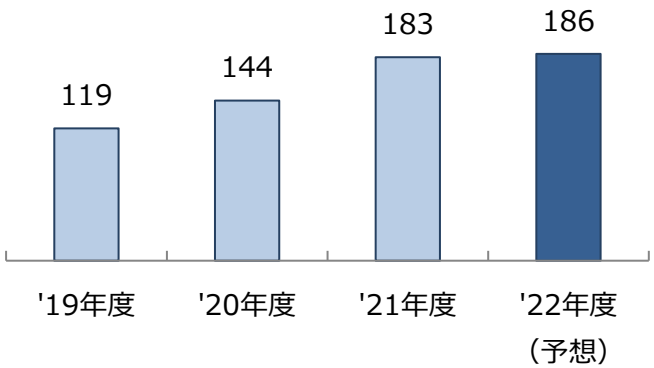
この挑戦が、未来となる。
ちゅうぎんフィナンシャルグループ

【業績予想】

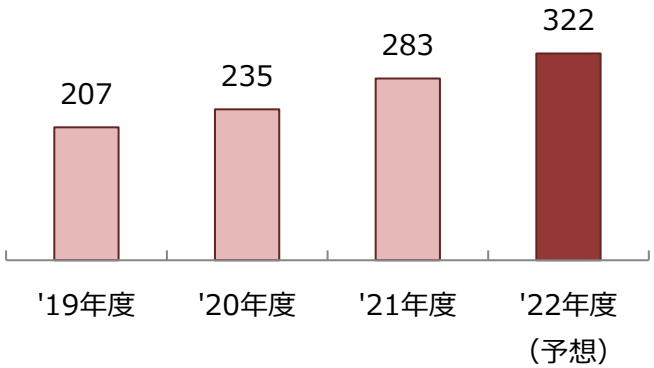
（億円）		2021年度 実績	2022年度 予想	前年比	公表比※
連結	連結経常利益	258	271	13	0
	連結当期純利益	183	186	3	0
銀行単体	コア業務粗利益	802	834	32	39
	資金利益	616	630	14	12
	うち、投資信託解約益	0	19	19	11
	役務利益	171	177	6	10
	その他業務利益	15	27	12	18
	経費（▲）	519	511	▲ 8	1
	コア業務純益	283	322	40	39
	与信費用（▲）	76	58	▲ 18	▲ 9
	うち一般貸引	50	23	▲ 27	0
	うち個別貸引	23	35	12	▲ 9
	有価証券関係損益	30	▲ 10	▲ 40	▲ 40
	その他	▲ 2	▲ 5	▲ 2	▲ 8
	経常利益	234	249	15	0
	当期純利益	169	173	4	0

※ 2022.5.13　公表利益

連結当期純利益の推移



コア業務純益の推移



(注)ちゅうぎんフィナンシャルグループは2022年10月3日に株式会社中国銀行の単独株式移転により同行の完全親会社として設立。連結業績予想は、中国銀行の中間期の連結業績を含む。
(業績予想の計算期間：2022年4月１日～2023年3月31日)

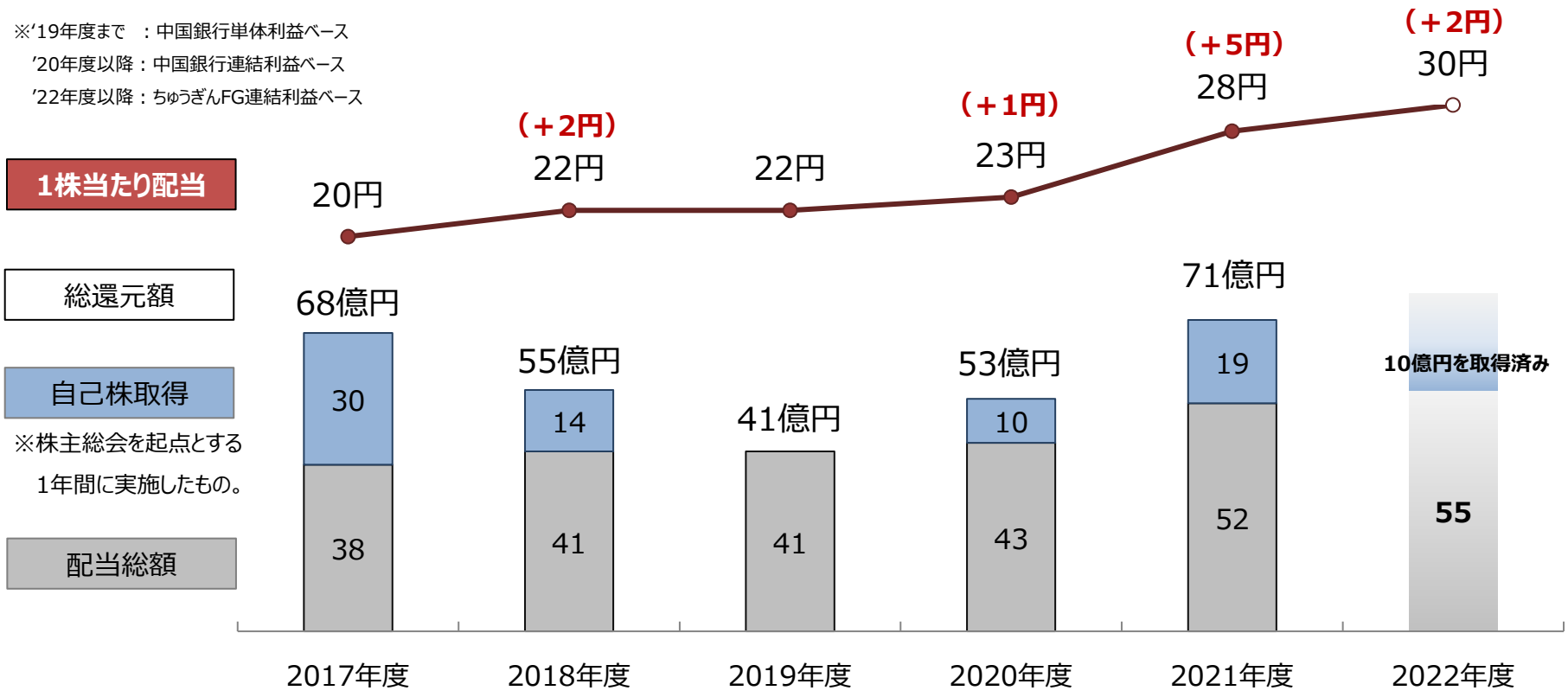
2．業績・株主還元　2022年度還元方針

【2022年度還元方針】 配当と自己株取得による総還元率35%以上（連結ベース）

ー安定的・継続的な配当の拡大と機動的な自社株取得の実施による株主還元の充実ー

総還元性向	35.1%	36.2%	38.2%	36.9%	38.9%	35%以上

※'19年度まで　：中国銀行単体利益ベース
'20年度以降：中国銀行連結利益ベース
'22年度以降：ちゅうぎんFG連結利益ベース



・業績が堅調に推移していることから、2022年度の1株当たり配当は2円増配し、30円（中間：14円 / 期末：16円）。
・'22/11～'22/12にかけて、10億円の自己株取得を実施済み。

中国銀行

【株主優待制度の対象となる株主さま】

毎年3月31日現在の株主名簿に記録された500株以上保有の株主さまのうち、継続して１年以上保有している株主さま

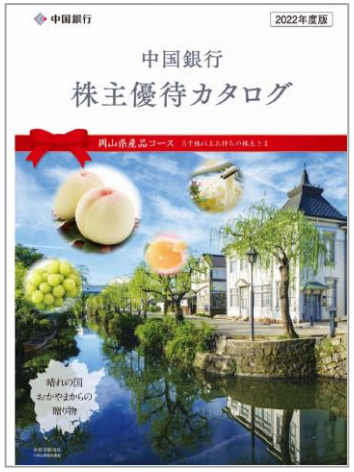
【株主優待制度の内容】

以下の3コースより、いずれかをお選びいただけます。

１．岡山県特産品コース

カタログに記載された岡山県の特産品からお好みの商品をお選びいただけます。

保有株数	500株以上5,000株未満	5,000株以上
優待商品	5,000円相当の岡山県特産品	10,000円相当の岡山県特産品



２．寄付金コース

寄付先として、「日本赤十字社」「特定非営利活動法人AMDA」「公益財団法人日本ユニセフ協会」のいずれかをお選びいただけます。

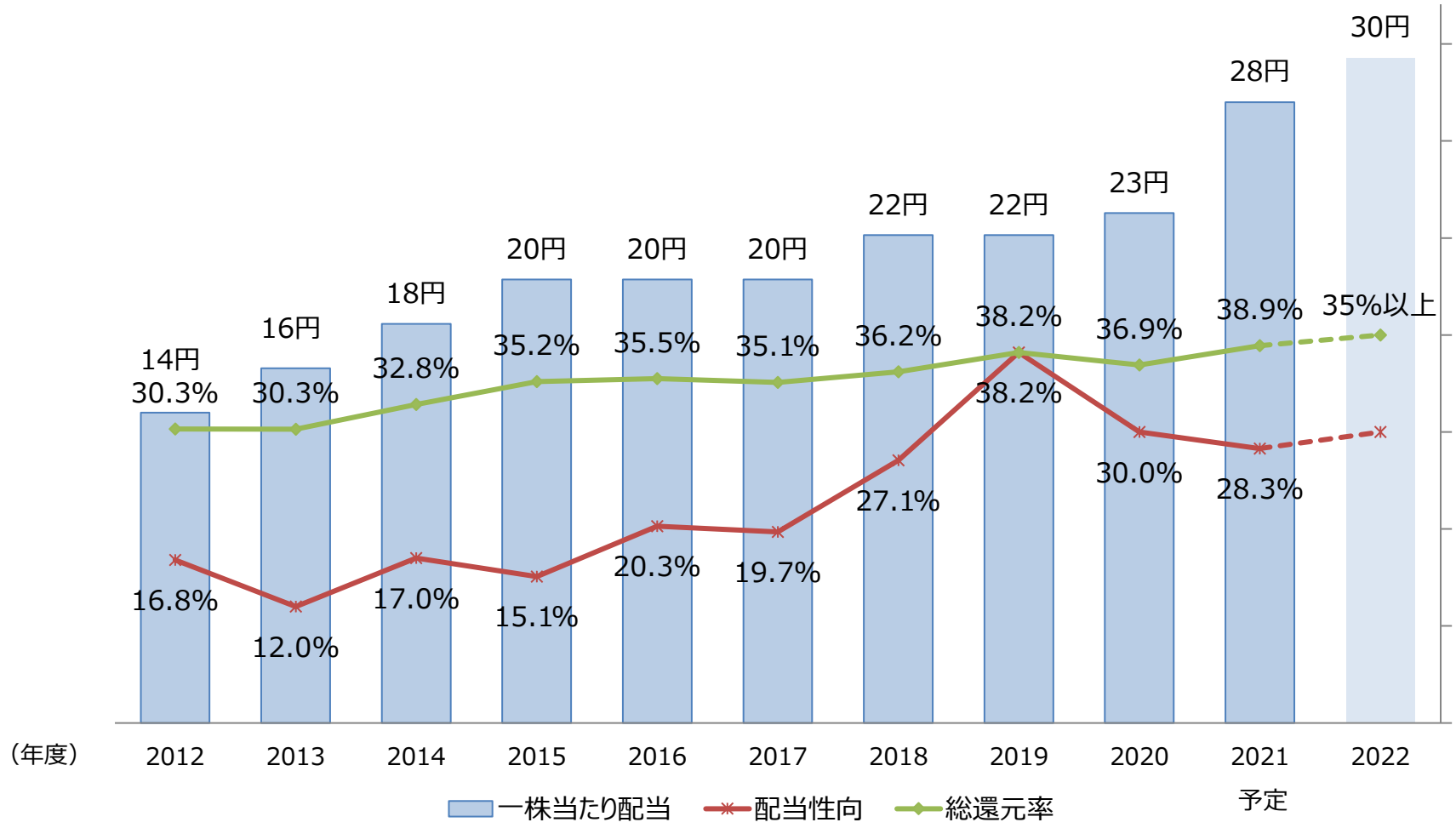
保有株数	500株以上5,000株未満	5,000株以上
寄付金額	5,000円	10,000円

３．TSUBASAアライアンス共同企画特産品コース

TSUBASAアライアンスのうち当企画に参加する銀行の地元特産品等を
掲載したカタログから、お好みの商品をお選びいただくコースをご用意する予定
※詳細は改めてホームページ等でご案内

中国銀行

配当額・配当性向・総還元率　推移



※配当性向および総還元率は2019年度までは単体ベース、2020年以降は連結ベース

３．経営戦略

－長期経営計画・中期経営計画－

3．経営戦略　長期経営計画『Vision2027「未来共創プラン」』

この挑戦が、未来となる。
ちゅうぎんフィナンシャルグループ

人口減少や収益力低下に打ち克ち、持続可能なビジネスモデルを構築すべく、2017年3月に**「地域・お客さま・従業員と分かち合える豊かな未来を共創する」**ことを長期ビジョンとした期間10年の長期経営計画『Vision2027「未来共創プラン」』を策定しました。

【長期ビジョン達成にむけたフレームワーク】

豊かな未来を創る取組み

— 提供するサービスの質の向上
— サービスを提供する機会の拡大

経営の土台を創る取組み

— サービスを提供するための体力の強化
— 一人ひとりの心の変革と組織風土改革

Mission
私たちが社会で果たすべき使命
（私たちの存在意義）

グループ経営理念

（2022年4月～）
長期ビジョンをグループ経営理念に位置付け

地域・お客さま・従業員と分かち合える豊かな未来を共創する

Vision
私たちが目指す姿

経営ビジョン

地域のお客さまに「選ばれ」「信頼される」
総合金融サービスグループ

Value
すべての役職員が共有する価値観

ちゅうぎんバリュー

お客さまへ	お客さまとのWin－Winを目指します
個として	仕事を通じて夢を実現します
会社として	働きがいと成長の場を提供します

3．経営戦略　中期経営計画「未来共創プラン　ステージⅡ」

この挑戦が、未来となる。
ちゅうぎんフィナンシャルグループ

本計画では、前中期経営計画での構造改革(戦略投資及びBPRによる効率化・営業力強化)の成果をもとに、外部環境の変化に迅速に対応するとともに、**地域社会とともに発展する【ちゅうぎんグループ独自のビジネスモデル】**を構築します。その実現のために、**組織力と人財育成**を強化していきます。

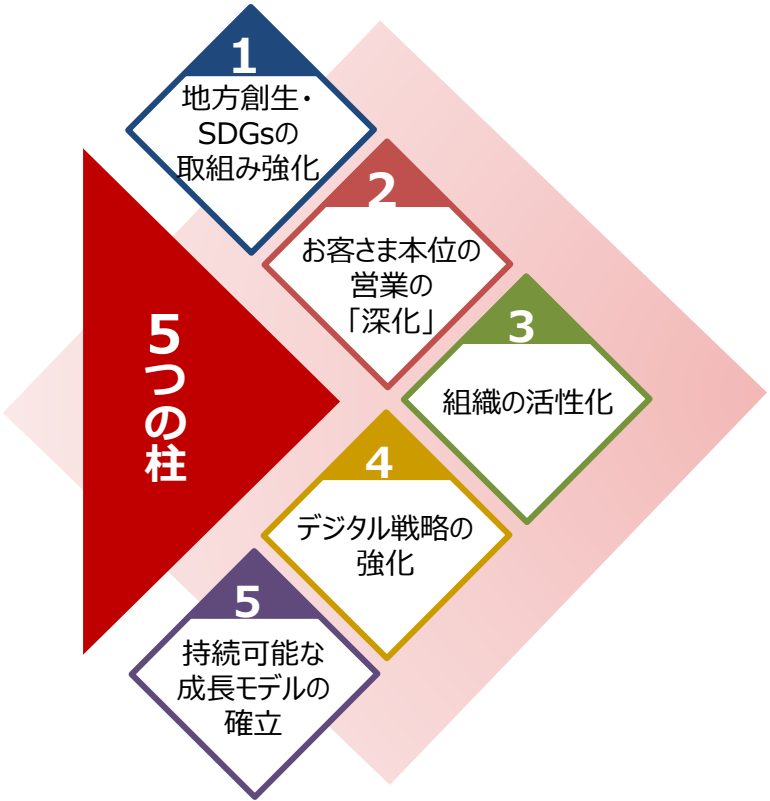
2017年度 ←3年間→ 2020年度 ←3年間→ 2023年度 ←4年間→ 2026年度

長期経営計画『Vision2027 「未来共創プラン」』

前中期経営計画「未来共創プラン ステージⅠ」	中期経営計画「未来共創プラン ステージⅡ」	「未来共創プラン ステージⅢ」
HOP ハード面強化	**STEP ソフト面(組織・人財)強化**	**JUMP 集大成**

徹底した構造改革 → 営業人員・時間の捻出

営業店	預為・店頭
	店頭業務改革
	営　業
	営業活動改革
	融　資
	事務の本部集中化・効率化
本部	本部業務の削減 働き方改革の促進



地域社会とともに発展するビジネスモデルの確立

ちゅうぎんグループが地域のプラットフォームへ

3．経営戦略　中期経営計画のKPI

- 各ステークホルダーに対して当行が提供できる価値を、中期経営計画「未来共創プラン ステージⅡ」のKPIとして設定。
- KPI達成を通じ、長期的には域内(東瀬戸内経済圏※1)人口とGDPの向上を目指します。

ステークホルダー	KPI	2022年度 中間実績/年度計画	中計最終年度 （2022年度）	長計最終年度 （2026年度）
地域社会	SDGsに資する地域課題取組み件数	持続的向上	持続的向上	–
	① 創業支援先数※2および 事業承継支援先数※3の合計	176先 (2年半累計)	3年間累計 200先	–
	② 金融リテラシー向上等に資する活動※4	596件 (2年半累計) 11,000名以上の受講	持続的向上	–
お客さま	お客さま満足度※5(個人・法人)	’20年度 法人アンケート 満足度74% ’21年度 個人アンケート 満足度65%	持続的向上	持続的向上
従業員	人件費支払前コア業務純益における 労働分配率※6	46%（’22年度計画）	54%以上	–
株主 外 （全ステークホルダー）	親会社株主に帰属する当期純利益	186億円（’22年度計画）	150億円	300億円
	連結総自己資本比率(バーゼルⅢ)	12.76%（’22中間実績）	12%安定維持	12%安定維持
	連結ROE	3.34%（’22年度計画）	–	(単年度) 5%以上

※1：東瀬戸内経済圏　・・・岡山県、香川県、広島県東部(備後地域)、兵庫県西部(播磨地域)
※2：創業支援先数　・・・当行が開催する創業支援イベント等により、創業した先数
※3：事業承継支援先数　・・・事業承継コンサルティングサービス受託先数
※4：金融リテラシー向上等に資する活動　・・・金融リテラシー、ビジネススキル等の向上に資する各種イベント・勉強会等の開催件数
※5：お客さま満足度　・・・お客さまアンケート「満足・やや満足」の合計（法人・個人アンケートを隔年で実施）
※6：人件費支払前コア業務純益における労働分配率　・・・人件費÷(コア業務純益＋人件費)

3．経営戦略　５つの柱の進捗と成果（サマリー）

これまでの主な取組み

1 地方創生・SDGsの取組み強化
- 専担部署、サステナビリティ委員会の設置
- 地域、お客さまを巻き込んだ地方創生の推進

2 お客さま本位の営業の「深化」
- 地区本部制、自主目標の導入
- コンサルティング営業の深化、新事業の加速

3 組織の活性化
- 17年ぶりの人事制度「全面改定」
- ダイバーシティの推進

4 デジタル戦略の強化
- 営業・事務・本部業務のデジタル化の加速
- 「ちゅうぎんアプリ」・「ちゅうぎんビジネスポータル」開始

5 持続可能な成長モデルの確立
- 経費コントロール、店舗再編、人員再配置など

これまでの成果

【創業支援先※】
15先
（'20年度～'22年度上半期の累計）
※当行開催の創業イベント等による先

【地公体の取組支援】
脱炭素先行地域
（西粟倉村）
デジタル田園健康特区
（吉備中央町）

【法人関連収益※ 】
72億円（'22中間）
（'19中間比＋38億円）
※法人ソリューション関連収益

【個人関連収益※ 】
35億円（'22中間）
（'19中間比＋6億円）
※預り資産関連収益

【新規事業】
新設会社 3社
（人材紹介、投資専門、コンサル）

【新人事制度】
活躍フィールドの拡大
自律と挑戦の風土醸成
（社内ベンチャー、専門職の新設
キャリアパスの制限撤廃など）

【ちゅうぎんアプリ】
11万先
（'21/7月～'22/9月まで累計）

【OHR】
55.0%（'22中間）
（'19中間比▲17.5pt）

３．経営戦略

－目指す姿－

3．経営戦略　ちゅうぎんグループの豊かな事業基盤

人口は2021年10月現在の総務省「人口推計」

豊富な森林資源

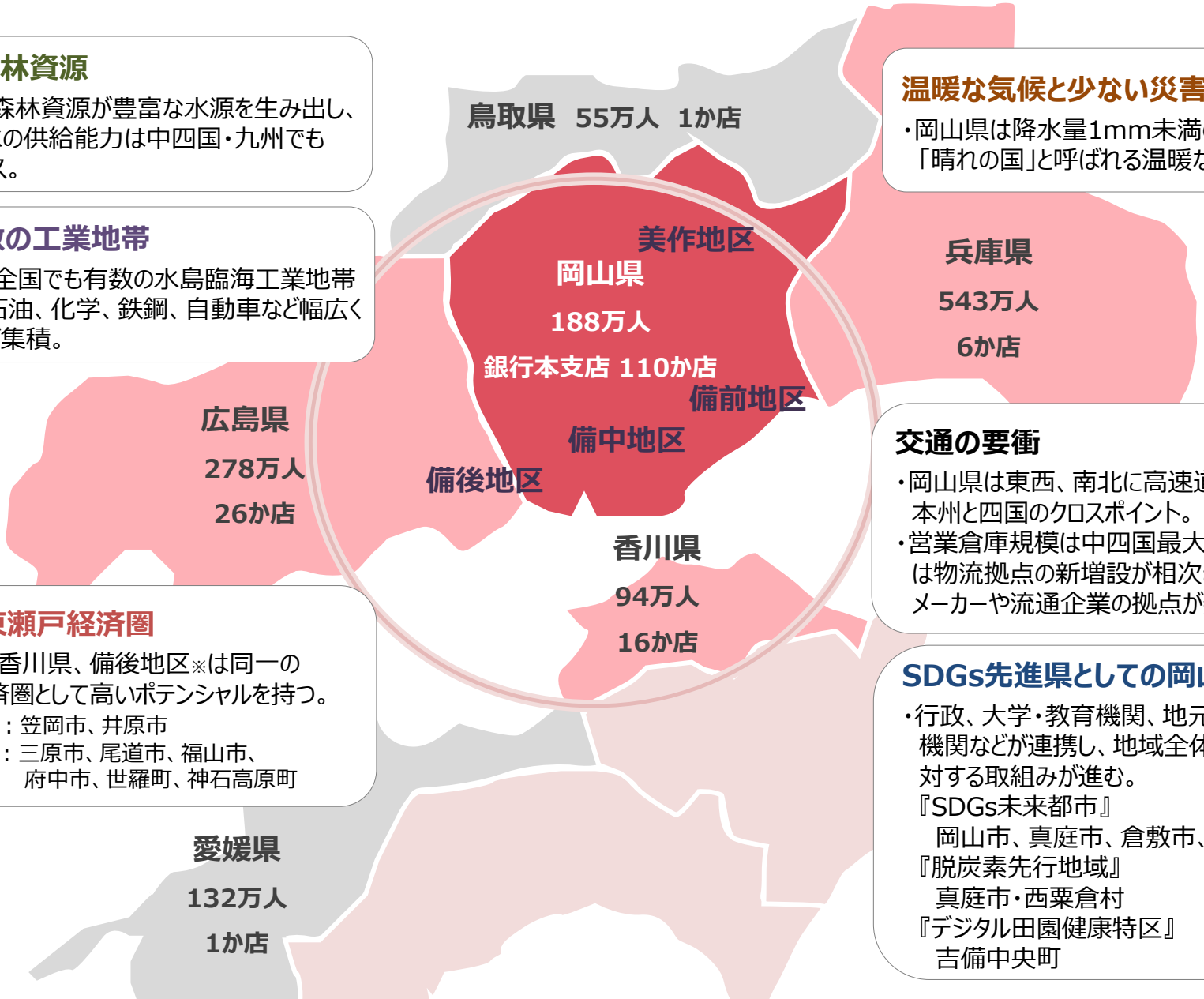
・県北では森林資源が豊富な水源を生み出し、工業用水の供給能力は中四国・九州でもトップクラス。

全国有数の工業地帯

・南部では全国でも有数の水島臨海工業地帯を有し、石油、化学、鉄鋼、自動車など幅広く製造業が集積。

広域な東瀬戸経済圏

・岡山県、香川県、備後地区※は同一の広域経済圏として高いポテンシャルを持つ。
※岡山県：笠岡市、井原市
広島県：三原市、尾道市、福山市、府中市、世羅町、神石高原町



温暖な気候と少ない災害

・岡山県は降水量1mm未満の日が多く「晴れの国」と呼ばれる温暖な気候。

交通の要衝

・岡山県は東西、南北に高速道路が交わる本州と四国のクロスポイント。
・営業倉庫規模は中四国最大であり、近年は物流拠点の新増設が相次ぎ、全国のメーカーや流通企業の拠点が数多く進出。

SDGs先進県としての岡山県

・行政、大学・教育機関、地元企業、金融機関などが連携し、地域全体でSDGsに対する取組みが進む。
『SDGs未来都市』
岡山市、真庭市、倉敷市、西粟倉村
『脱炭素先行地域』
真庭市・西粟倉村
『デジタル田園健康特区』
吉備中央町

地域・お客さま・従業員と分かち合える豊かな未来を共創する

前中計「未来共創プラン ステージⅠ」
ハード面（徹底した構造改革）強化

中期経営計画「未来共創プラン ステージⅡ」
・ソフト面（組織、人財）の強化
・「地方創生SDGs」を第１の柱に

土台となる体制整備
「地区本部制／自主目標の導入、新人事制度、
グループ経営理念など」

「持株会社」への移行
（持続可能なビジネスモデルの確立へ）

すべて「ちゅうぎんグループが果たすべき使命」の達成に向けた一連の流れ

3．経営戦略　使命達成のための土台　－組織の活性化－

この挑戦が、未来となる。
ちゅうぎんフィナンシャルグループ

・内外の環境変化に対応すべく、これまで組織の活性化に資するさまざまな取組みを実施。

・「ボトムアップ」の組織風土醸成により、「ちゅうぎんオープンラボ」や営業店自主目標などの制度が実現。

2014.4

「ちゅうぎんの心」の制定

・中国銀行グループ役職員における「行動や判断の基準、価値観」を明確化。

2015.6

「NEXT10推進室」の設置

・常に次の10年を見据えて、
CS、ES、ダイバーシティ、「ちゅうぎんの心」
を一元的に統括・推進。

2017.10

「フラットミーティング」の導入

・「気楽に、まじめな話をするミーティング」
従業員のコミュニケーションが深まるとともに、
参加者の知恵により各種企画や改善提案。

2020.4

業績表彰制度の改定

・定量評価から定性評価へ
表彰制度をシフト。

2021.4

ちゅうぎんグループ人事制度改定・ちゅうぎんオープンラボ開始

・「社内外で求められる人財集団」を目指し、約17年振りに人事制度を全面改定。

－活躍フィールドの拡大・自律と挑戦の風土を醸成－

・社内ベンチャー制度「ちゅうぎんオープンラボ」により課題解決
アイデアの実現機会を提供。

キャリアパス　自律　ワークスタイル　挑戦

2022.4

経営理念・ちゅうぎんバリュー制定

・長期ビジョンを経営理念に
位置付け、「ちゅうぎんの心」
を「ちゅうぎんバリュー」に改める
など理念体系を変更。

2021.6 / 2021.10

地区本部制 / 自主目標導入

・地域毎に地区本部を設置し権限移譲と
機能強化を促進。

・営業店「自主目標」による主体的・自律
的な営業強化。

2022.10

持株会社体制移行

内部環境の変化

外部環境の変化

3．経営戦略　地域の豊かな未来に向けて①

真庭市（脱炭素先行地域・SDGｓ未来都市）

ちゅうぎんの森（2008年～）

・台風で被害を受けた真庭市の森林の一部を「ちゅうぎんの森」と名付け2008年から整備事業を実施。
・2018年からは新たな覚書を締結し、間伐・除伐などを行い、間伐後の木材については売却による整備資金への充当やバイオマス発電へ活用。

包括協定（2022年11月～ ）

・真庭市とちゅうぎんフィナンシャルグループの知的・人的資源を有効活用し、持続可能な地域経済に向けた取組みに関する連携、協力を一層強化。

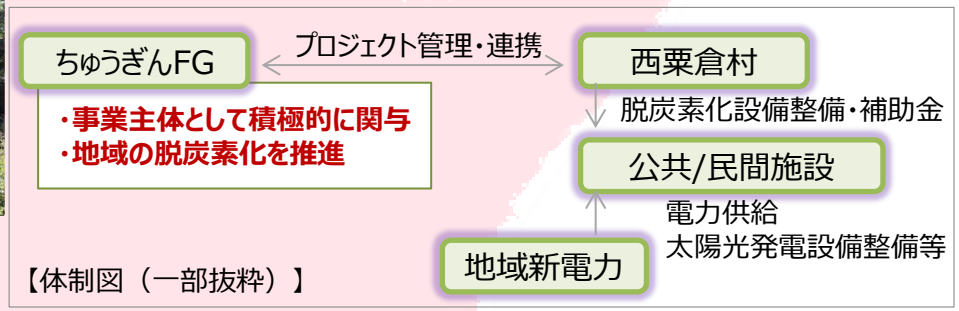
未利用農地を活用した新産業創出
－「コケ」の培養と製品化・販売化－

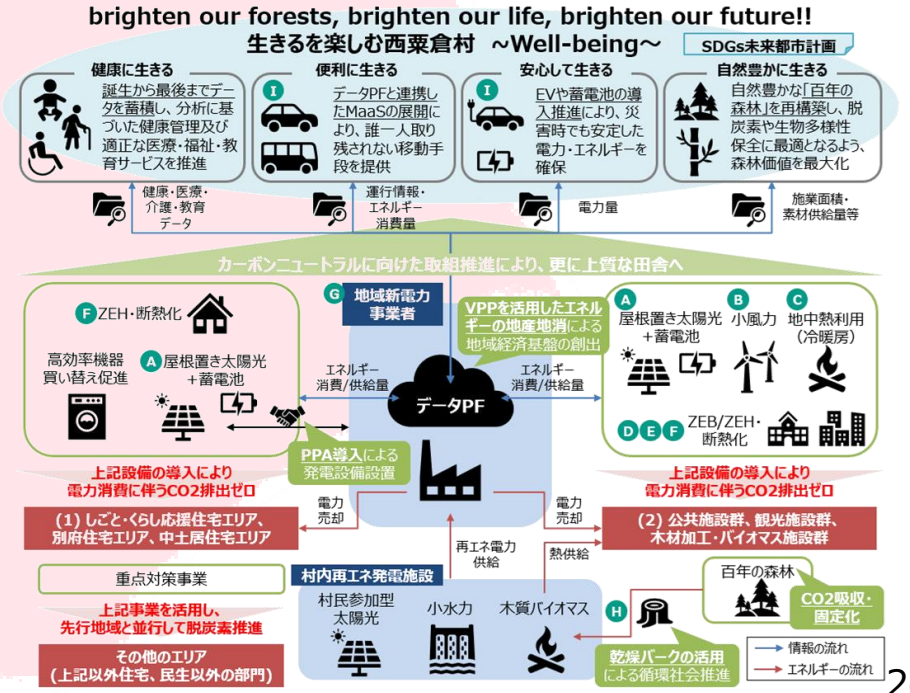
- 真庭市
- KOBASHI HOLDINGS株式会社
- 株式会社ジャパンモスファクトリー
- 農事組合法人寄江原
- 株式会社せとのわ

西粟倉村（脱炭素先行地域・SDGｓ未来都市）

脱炭素先行地域
『2050“生きるを楽しむ”むらまるごと脱炭素先行地域づくり事業』

西粟倉村、ちゅうぎんグループなど計４者による共同提案





（西粟倉村提案計画より）

3．経営戦略　地域の豊かな未来に向けて②

ちゅうぎんグループが主体となって地域社会を“面”で盛り上げていく

地域の金融リテラシーの向上

- ✓ 金融教育の一環として、学生向けに職場見学や出張授業を実施。
- ✓ また社会人向けライフプランセミナーや確定拠出年金説明会などを開催。

地域のDX,SXを加速

- ✓ 地域の課題解決をリードし、ちゅうぎんグループが地域をデザインしていく

Cキューブ・コンサルティング

創業のエコシステム

ももスタ
・岡山駅前に立地する、起業家・スタートアップ挑戦者の支援拠点

岡山イノベーションプロジェクト
・起業の「スクール」と、人材を発掘・表彰する「コンテスト」

サイエンスキャッスル
・中高生による研究発表
未来の研究者の登竜門

岡山テックプランター
テックグランプリ
・科学技術を発展させて産業を創出、ベンチャー発掘

地域を巻き込んだ企業の応援

- ✓ **地域企業の応援 「せとうちサポーター」**
  グループ企業（アセットマネジメント）による瀬戸内3県（岡山、香川、広島）の企業を組入れた投資信託

- ✓ **地域密着型クラウドファンディング**
  地域密着で、少額からプロジェクト資金の調達を支援

晴れ！フレ！岡山

ちゅうぎんグループ

持株会社へ移行

従来の金融機能（融資、預金、為替）

創業支援

成長支援

事業承継
経営改善

デジタル

地域課題の解決

3．経営戦略　持株会社体制への移行の理由・目的

この挑戦が、未来となる。
ちゅうぎんフィナンシャルグループ

目 的

地域社会・お客さまと相互に発展する持続可能なビジネスモデルを確立する

ねらい

- ✓ 業務軸の拡大
- ✓ 経営資源の適正配分
- ✓ グループガバナンスの進化

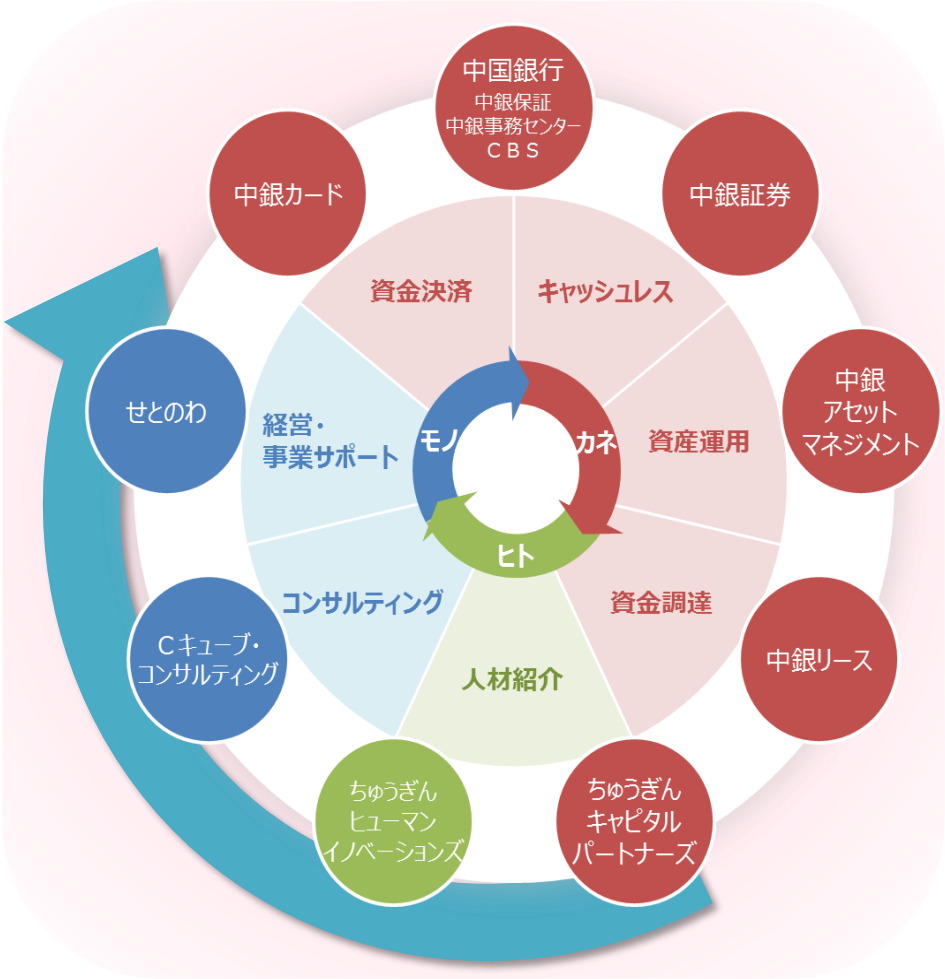
事業環境の変化に対して、強く柔軟な組織体制を構築

目指す姿

「金融を中心とした総合サービス業」へ進化

地域へ新たな価値を創出し続けられる組織へ

ちゅうぎんグループの総合金融サービス提供体制

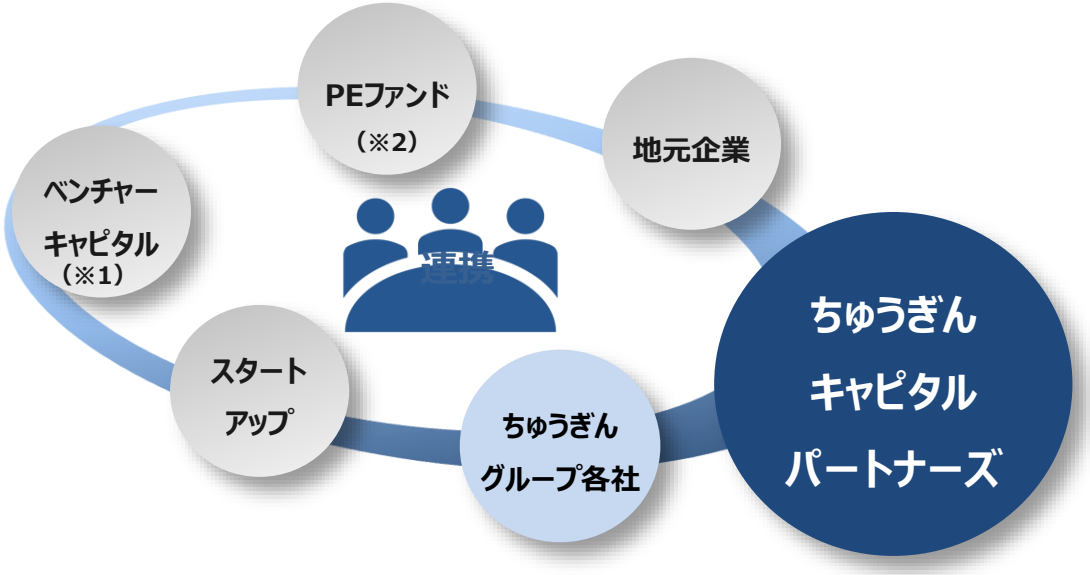


地域のニーズに対応すべく業務軸を拡大

ちゅうぎんキャピタルパートナーズ

設立日　2022年4月1日

地域に寄り添った投資専門子会社



（※1）スタートアップ・ベンチャー企業など、高い成長が予想される企業に投資をおこなう投資会社

（※2）プライベートエクイティファンドの略。事業承継等の課題を感じている未上場企業に投資をおこない、経営・成長支援（企業価値向上）などをおこなう投資会社

（※3）地域の活性化に資すると認められる事業をおこなう会社

スタートアップ	地域活性化事業会社（※3）	事業承継会社
地元企業・地元出身起業家	再エネ関連事業者	事業承継ニーズのある企業
地域課題解決型企業等	まちづくり関連事業者等	新たな成長を目指す企業
スタートアップと地域のエコシステム構築	**地域活性化・地域脱炭素への貢献**	**後継者不在企業の存続と発展**

地元地域経済の持続的発展

ちゅうぎんヒューマンイノベーションズ

設立日　2022年5月30日

✓ **ちゅうぎんグループの経営資源と信用力を活用**

グループが保有する経営資源（ヒト・モノ・カネ・情報・ネットワーク）＋信用力を最大限生かすことで、他社との差別化を図る。

✓ **グループシナジーの発揮と地域活性化への貢献**

グループの既存事業に加え、新しく設立した2社（ちゅうぎんキャピタルパートナーズ、Cキューブ・コンサルティング）との連携や地域の同業他社と協業し、地域経済の発展に貢献する。

『ひと』に関する各種ご相談やご依頼にワンストップで対応することで、『ひと』の心を繋ぐ、地域のプラットフォームへ

『ひと』に関するワンストップ企業

- **‘19/8**
  中国銀行にて「人材紹介業務」開始
- **‘22/5**
  ちゅうぎんヒューマンイノベーションズ設立
- **‘22/10**
  有料職業紹介事業の免許取得
  中国銀行より事業移管のうえ業務開始

Cキューブ・コンサルティング

代表者　　西原 立

（元PwCコンサルティング合同会社・岡山県出身）

設立日　2022年9月1日

社名の由来

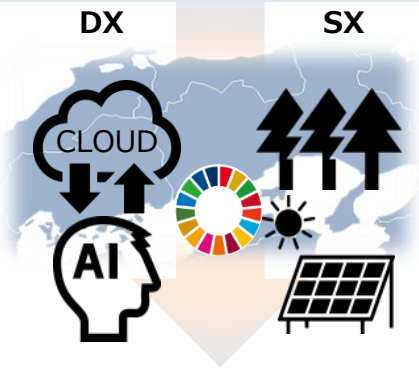
Chugin Financial Group「**ちゅうぎんフィナンシャルグループ**」
× Community「**地域社会**」 × Co-Creation「**共創**」

特徴

1. **地方創生に熱い思いを持ったスタートアップ**
2. **広域の社会課題解決(BtoX)**
3. **ちゅうぎんグループの総合力で地域をデザイン**
4. **中国銀行の信用力/地域リレーション活用**

お客さまや地域の課題解決・持続的成長に貢献

多様化・複雑化する地域課題



地域版DX・SX推進モデルの確立

- 地域金融機関として前例のない新しい**スタートアップ、進取の精神を持ったコンサルタント会社**
- 地域のエコシステムの中心となり、困難な**地域の社会課題の解決をリード**
- コンサルティング力と、融資に留まらないちゅうぎんグループの総合力のシナジーによる**圧倒的に幅広い解決策で、地域社会の未来を創造**
- 東瀬戸内経済圏におけるリーディングバンクとして、地域との強固なリレーションにより、**地域の声(課題)に最も近いところ**に立って課題に向き合う

3．経営戦略　業務軸の拡大－せとのわ（地域商社）－

せとのわ

設立日　202011月25日

✓・地域を代表する企業との合弁により、ちゅうぎんグループに不足する知見（流通、プロモーション、デザイン、マーケティング等）を補完。

✓・参画５社のノウハウ・ネットワークとともに、ちゅうぎんグループの経営資源を最大限活用し、地域の魅力を発信。

ちゅうぎんフィナンシャルグループ

山陽新聞社
（地元新聞社）

TENMAYA
（地元百貨店）

分析・戦略
商品企画・開発
ブランディング
販路開拓
プロモーション

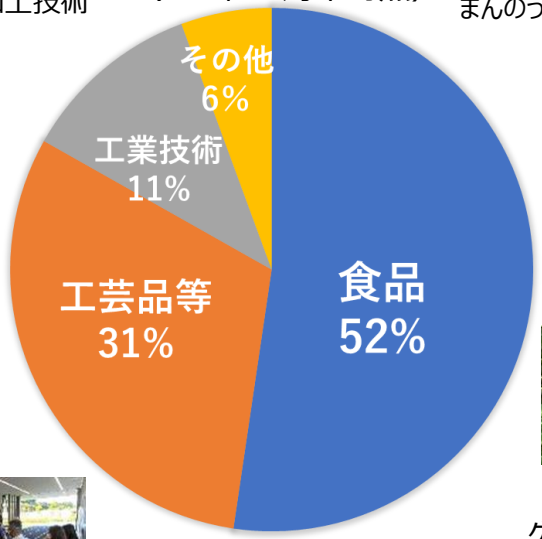
株式会社アイディーエイ
（ブランディング、デザイン）

HAKUHODO
中国四国博報堂
（広告、プロデュース）

板金・レーザー加工技術

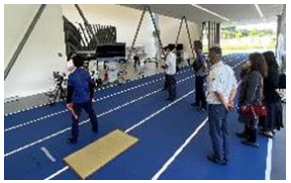
まんのうひまわりオイル

ご相談の状況
（'22年10月末時点）



牡蠣殻微粉末

岡山産
グリーンパパイヤ

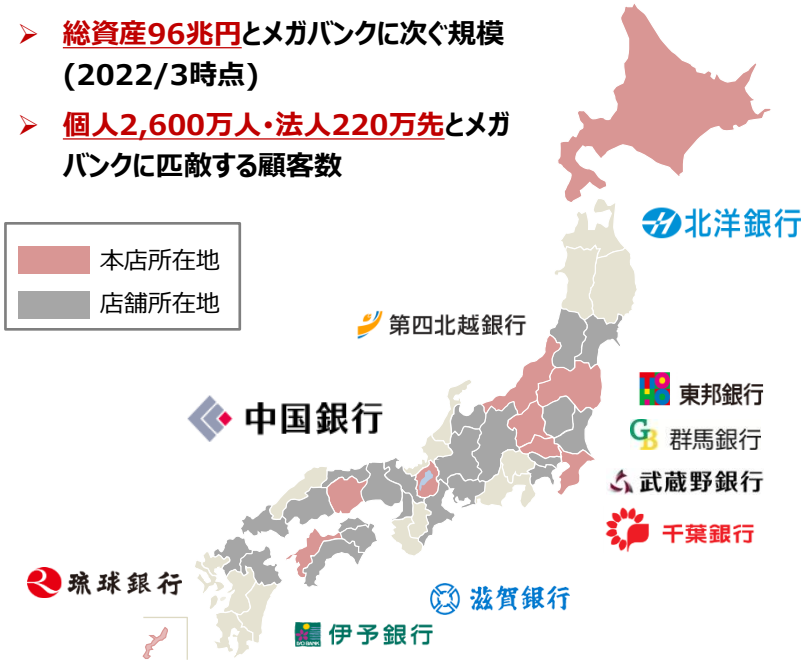


畳×スポーツ

瀬戸内産真鯛ほぐし・お茶漬け

TSUBASAアライアンス
－ 広域かつ大規模なアライアンスによるスケールメリットとシナジーを追求

- **総資産96兆円とメガバンクに次ぐ規模（2022/3時点）**
- **個人2,600万人・法人220万先とメガバンクに匹敵する顧客数**



TSUBASAアライアンス株式会社

- 各行に共通する重要課題への対応、業務の集約
- 各行が先行開発した先進的サービス・機能の横展開

TSUBASA ALLIANCE

AMLセンター
- マネロン、テロ資金供与防止

事業戦略部
- DX
- ESG/SDGs
- 新事業
- 人財育成
- 情報集約・活用

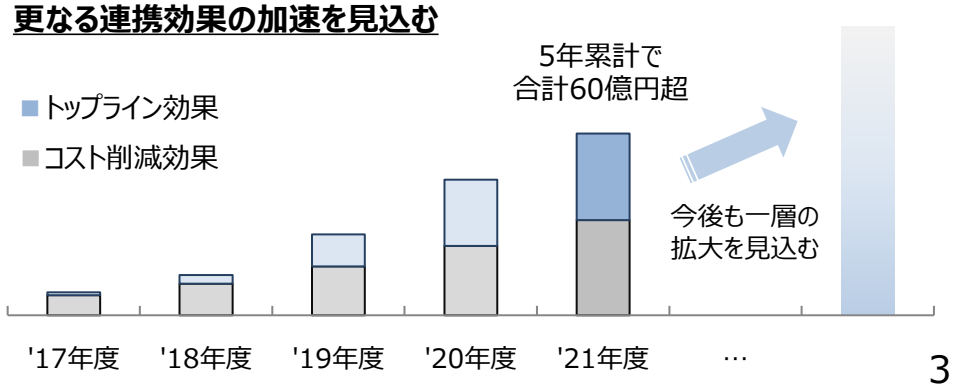
T&Iイノベーションセンター株式会社
- API共通基盤、FinTech

連携

各銀行がお互いの強みを発揮することによりアライアンス効果が大きく拡大

- トップライン増強
  - 協調融資
  - 相続関連業務
  - M&A業務プラットフォーム
  - グループ会社活用
  - 人材交流
- コスト削減・効率化
  - 基幹系システム共同化
  - サブシステム共同化
  - TSUBASA FinTech基盤
  - 事務部門共同化
  - AML業務の高度化
  - TSUBASA Smile

更なる連携効果の加速を見込む



４．トピックス

・脱炭素

・デジタル

・マーケットイン

・ダイバーシティ

4．トピックス　－脱炭素－

気候変動への対応

取締役会での深い議論を通じて、地域の脱炭素移行の支援と開示の充実を加速させていく方針

課題意識

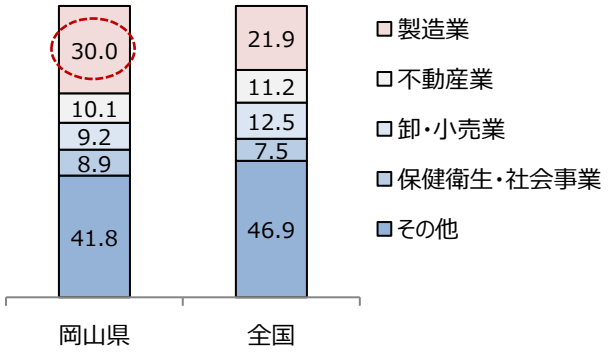
✓ 地域企業が脱炭素への移行に遅れるリスク
- ・岡山県の産業構成（水島コンビナート、三菱自動車関連など製造業が多い）
- ・当行の与信ポートフォリオ上も製造業が多く、脱炭素への移行リスクを強く認識。

✓ 自然災害の発生リスク
- ・従来、岡山県は温暖で災害が少なかったものの、近年は西日本豪雨災害（2018.7）のような災害発生リスクが高まっている。

✓ 貸出金・有価証券の座礁資産化リスク
- ・ポートフォリオやリスク管理の見直しの必要性。

資料：内閣府「県民経済計算」 2018年度

県内総生産額の経済活動別構成比（%）



※1 気候関連財務情報開示タスクフォース
※2 IEAのSDSシナリオ（2℃シナリオ）
※3 IPCC　RCP8.5シナリオ（4℃シナリオ）

対応方針

これまでの取組み

➢「責任ある投融資に向けた取組方針（'21年4月）」
- ・環境・社会に対してリスク・負の影響を与える投融資※については慎重に判断し、その影響を低減・回避するよう努めることを明確化。
  （※兵器、石炭火力発電、パーム油農園開発・森林伐採事業）

➢「本業を通じたSDGs」の取組み
- ・社会貢献型私募債　（発行額の一部でSDGs各項目に取組み）
- ・ちゅうぎんサステナブルローン（設定した目標の達成に応じて金利が連動）
- ・ちゅうぎんSDGsサポート　（お客さまのSDGs宣言の作成支援）　など

TCFD ※1 開示（'22年6月～）

ガバナンス	・サステナビリティ委員会を中心とした推進体制の整備
戦略	・リスクと機会の評価、サステナビリティ経営の戦略に反映 移行リスク（「電力」、「自動車・同部品」）※2 2050年までの与信コスト増加額：**累計180億円** 物理リスク（水災被害による影響）※3 2050年までの与信コスト増加額合計：**最大60億円**
リスク管理	・CO2排出量　2030年度末までにScope1、2を**ネットゼロ**
指標と目標	・サステナブルファイナンス　2030年度末までに**1.5兆円実行**

４．トピックス　－脱炭素－

サステナブルファイナンス

環境関連・社会関連

'30年度目標

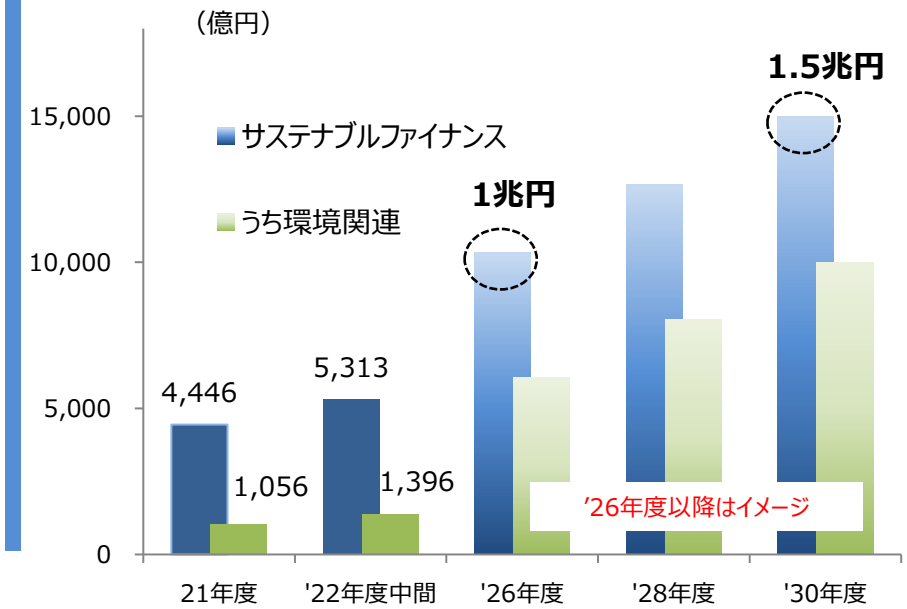
➢ **実行額 1兆5,000億円**（残高 **約7,000億円**）

・再生可能エネルギー、サステナブルローン、蓄電池、EV車
医療、介護、教育、地方創生関連、コロナ融資など

・これまで蓄積してきた本部貸出部門のノウハウ活用、
地区本部や新設するコンサル子会社による地公体との
連携強化（川上からの働きかけ）

ちゅうぎんグループが地域の脱炭素・サステナビリティをリード

これまでの実績と今後のイメージ【累計】



➢ グループ内への啓発活動

SDGｓに関わる研修を定期的に実施

従業員への理解浸透や取組みの促進

➢ グループ外の連携

他金融機関や企業、大学などとも連携し、地域内の

サステナビリティ機運醸成へ貢献

（2022年9月8日実施）
「脱炭素セミナー」
倉敷市水島地区の企業
を対象に実施

4．トピックス　－脱炭素－

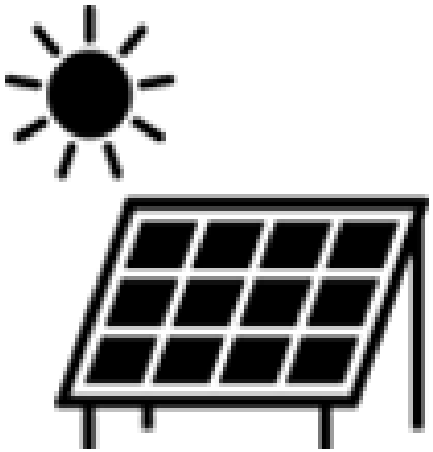
地域エネルギー会社

➢ 地域エネルギー会社の新設

ちゅうぎんキャピタルパートナーズの100%子会社として、
脱炭素関連事業を営む地域エネルギー会社の設立を予定
事業開始予定：2023年4月（関係当局への届出等を前提）

太陽光PPA事業※等の地域脱炭素を通じて
サステナビリティ・トランスフォーメーション（SX)を実現

※ 太陽光PPA事業とは･･･
・ PPA＝Power Purchase Agreement（電力販売契約）の略
・PPA事業者が需要家の屋根等のスペースに、無償で太陽光発電システムの設置と運用・保守を行い、発電した電力を需要家が購入・活用するモデル



2022年12月28日　当社ニュースリリースより

2022 年 12 月 23 日

各 位

会社名　株式会社 ちゅうぎんフィナンシャルグループ
代表者名　取 締 役 社 長　加 藤 貞 則
（コード：5832　東証プライム）
問合せ先　経 営 企 画 部 長　剱 持 直 紀
（TEL：086-223-3110）

地域エネルギー会社の設立に関するお知らせ

株式会社ちゅうぎんフィナンシャルグループ（取締役社長　加藤　貞則、以下「当社」といいます。）は、本日開催の取締役会において、関係当局への届出等を前提に、当社子会社の株式会社ちゅうぎんキャピタルパートナーズが 100%出資する、脱炭素関連事業を営む地域エネルギー会社の設立を決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1．設立の背景・目的
当社は、子会社の株式会社中国銀行において、2017 年に期間 10 年の長期経営計画「Vision2027 未来共創プラン」を策定し、長期ビジョン「地域・お客さま・従業員と分かち合える豊かな未来を共創する」を掲げ、お客さまと地域社会と共に相互に発展する持続可能なビジネスモデルの構築を目指し、本年 10 月に持株会社体制へ移行を行いました。
このようななか、当社グループは業務軸を拡大し、地域の脱炭素化の推進（太陽光 PPA 事業等）を通じたサステナビリティ・トランスフォーメーション（SX）の実現により、お客さまの経営課題の解決や本業支援に積極的に取組むことを目的に、当該子会社を設立いたします。
※太陽光 PPA 事業…PPA とは「Power Purchase Agreement（電力販売契約）」の略。PPA 事業者が需要家の屋根等のスペースに、無償で太陽光発電システムの設置と運用・保守を行い、発電した電力を需要家が購入・活用するモデルのこと。
SX…企業が持続可能性と ESG（環境・社会・ガバナンス）の両立により経営を行うこと。

2．地域エネルギー会社の概要
(1) 事業開始予定
2023 年 4 月（設立は関係当局への届出後、手続き予定）
(2) 株主構成
株式会社ちゅうぎんキャピタルパートナーズ（100%子会社）
3．その他
当該子会社に関するその他具体的な内容につきましては、改めてお知らせいたします。

4．トピックス　－デジタル－

- デジタル戦略ビジョン　「お客さまのあらゆる生活・事業に溶け込んだ総合サービス業を目指す」
- 地域金融機関ならではの「ヒト（営業）、モノ（店舗）、情報」を活かしたデジタル化を強力に進めていく方針。

	Step1.（本中計）既存サービス利便性向上	Step2.（次期中計）新金融サービス	Step3.（2030年）非金融含む総合サービス
個人	**デジタルの拡大**	**リアルとデジタルの融合**	**生活に溶け込んだサービスの提供**
	✓ 営業店のデジタル化（後方・役席業務レス）（店頭タブレット完結） ✓ 個人アプリの利便性向上	✓ 次世代型店舗（事務レス、コンサルティング） ✓ 提案の高度化（オムニチャネル）（AIの活用）	金融を超えた様々なサービスを日常的にリアル／デジタルで紹介・提供
法人	**デジタルチャネルの整備**	**デジタルチャネルの深化 デジタル武装強化**	**事業・経営相談のパートナー**
	✓ 法人ポータルサービスの提供（非対面での融資の申込み）（融資契約の電子化） ✓ オンライン面談の拡充（Web・アプリ） ✓ 情報提供を目的としたメールマーケティング実施	✓ 法人ポータルによる高度化・ワンストップ化 ✓ オンライン融資、情報提供の高度化（AIの活用）	全渉外が、地元企業の重要意思決定を支援するコンサルへシフト

利便性の高いスマホアプリ
- 常に使われる
- 最適な提案
- リアルとの架け橋

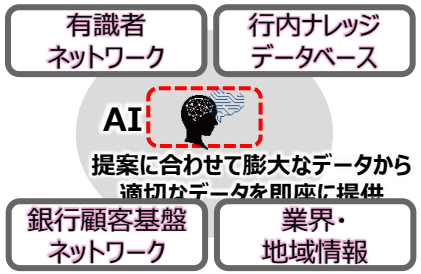
店頭タブレット「TSUBASA Smile」

TSUBASA ALLIANCE

次世代型店舗

異業種連携チャネルとの連携

法人向けプラットフォーム

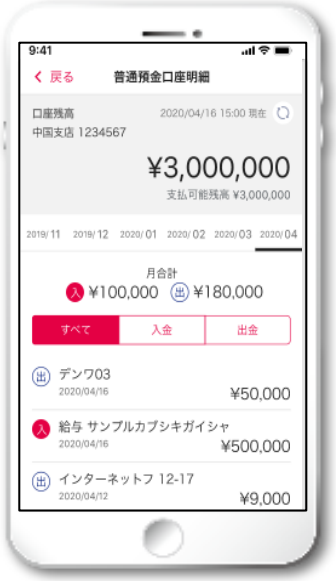


4．トピックス　－デジタル－

- 2021年7月「ちゅうぎんアプリ」（個人向け）、2022年9月「ちゅうぎんビジネスポータル」の取扱いを開始。
- 対面・非対面それぞれのチャネルを融合させた新しい営業スタイルを実現していく。

ちゅうぎんアプリ

個人のお客さまと繋がる「メインチャネル」へ



対面
- 営業店
- ライフプランセンター

起点
- **ちゅうぎんアプリ**

非対面
- HP、SNS、メール
- コールセンター

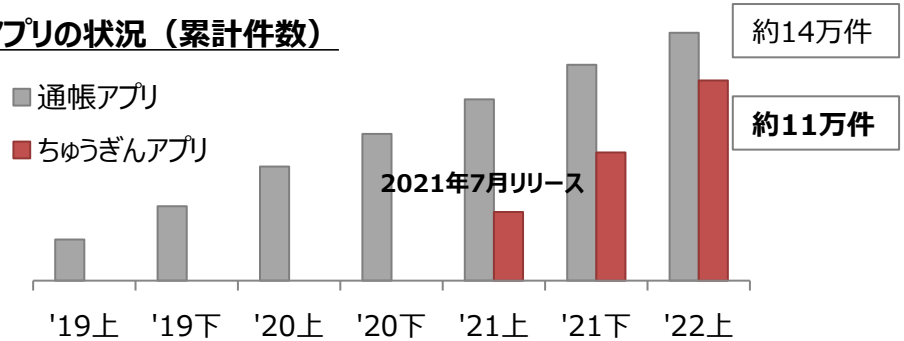
など

面談できているお客さま
約23万先

対面へ誘導
より高付加価値の提案へ

面談できていないお客さま
約177万先

アプリの状況（累計件数）



ちゅうぎんビジネスポータル

NEW

オンライン接点を活用したタイムリーな情報提供

（Mikatano資金管理：資金管理機能）

（Mikatanoワークス：スケジュール、勤怠管理等）

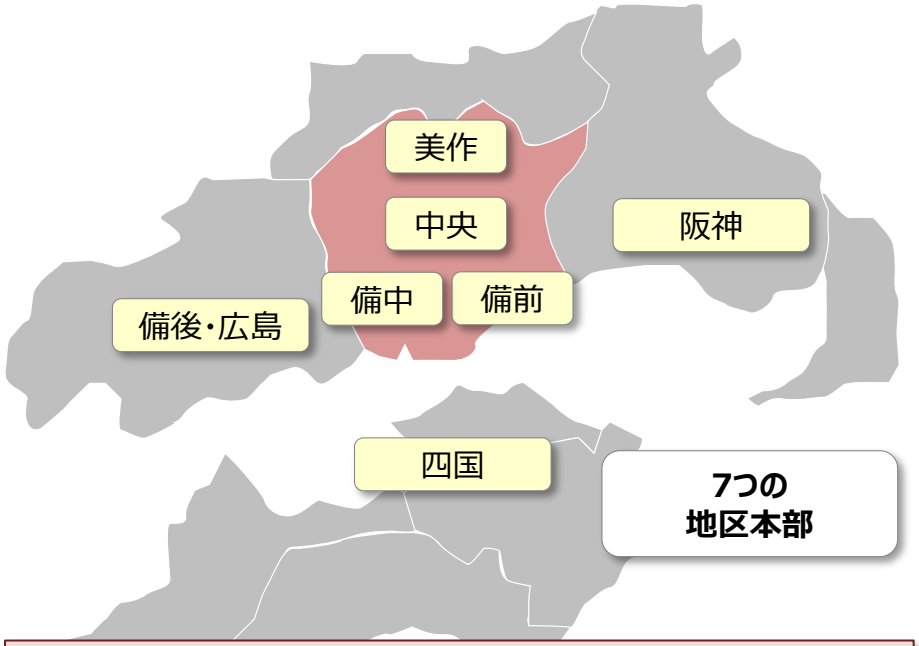
中国銀行
×
Money Forward X

お客さまの利便性向上や業務効率化に貢献するとともに、
データ分析により営業店・本部からニーズに即したタイムリーな情報を発信。

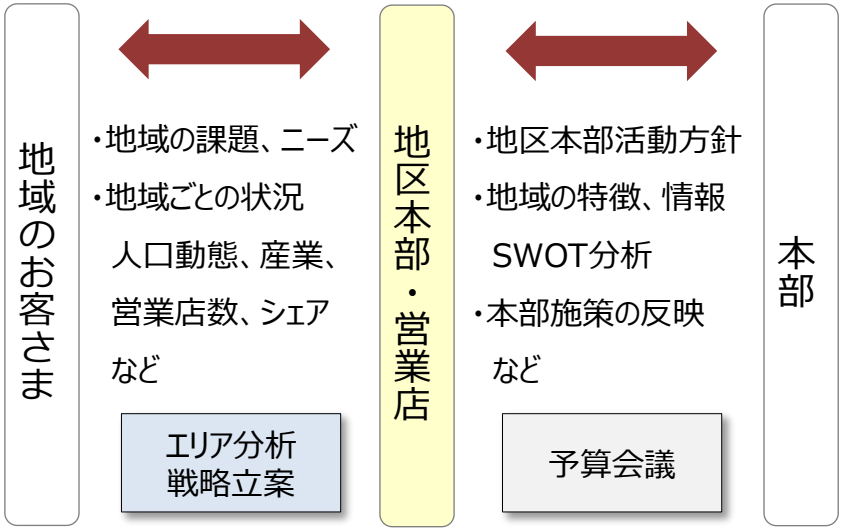
4．トピックス　－マーケットイン－

- 地区本部制　行政区分に応じた7つの地区本部を新設し、地域（市町村）との連携を一層強化。
- 自主目標　営業店および地区本部主体の地域特性・マーケットに根差した主体的・自律的な営業を強化。

地区本部制の導入



営業店「自主目標」の導入



地区本部制の目的

- 地域ごとに複雑化・多様化する課題やニーズの把握。
- 現場に最も近い「地区本部」が主導して、地域毎の営業戦略や地方創生SDGs施策を立案・実行。
  - ・権限移譲（地域との連携、戦略立案、人事等）
  - ・機能強化（調査分析、本部との橋渡し、営業支援等）

自主目標の目的

- 地域特性、マーケットに根差した主体的・自律的な戦略立案と活動。
- 営業店、本部、グループ会社が一体感を持った営業体制の構築。
- お客さま本位の営業の更なる追求と収益力の向上。

ダイバーシティの推進

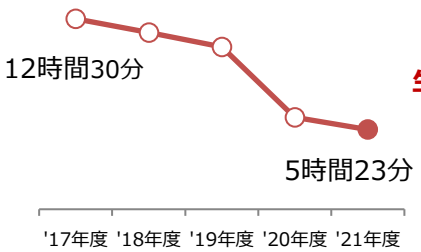
従業員の働き方改革、多様な人財の活躍を通じて、中長期的な企業価値の向上を図っていく方針

健康経営

ワークライフバランスの推進・働き方改革への取組み

- フレックスタイム制度、勤務間インターバル制度、時差出勤の活用
- PCログイン記録など、入退社時刻を正確に記録するシステムの導入
- 時間単位での年次有給休暇の取得、有給休暇10日間取得の必須化
- イクボス推進、育児休暇取得率を男女とも100%取得推進

月間所定外労働時間



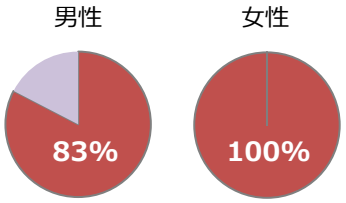
健康経営優良法人
Health and productivity

生産性向上、働き方改革による所定外労働時間の削減
↓
多様な人財が活躍できる環境を整備

両立支援

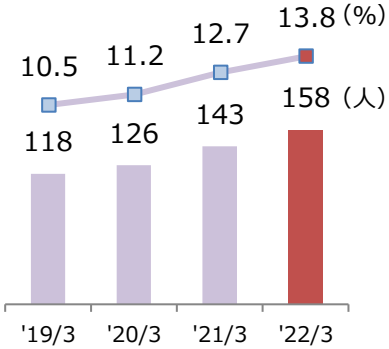
- 育児や介護などのライフイベントの際にも安心して働き続けることができるよう、制度整備を実施。
- 子育てサポート企業に付与される『プラチナくるみん』を取得。
- また退職した方でも再び当行で就職できるよう、ジョブリターン制度を設置。

育児休暇取得率



※'20年4月1日～'21年3月31日までに子が生まれ、'22年3月31日までに取得した従業員の取得率

女性役席者数/比率



多様性（多様な価値観や専門人財の採用）

- 2019年より、コンサルタントや弁護士等、専門スキルを持った人財を金融機関以外の業種からも積極的に採用。
- キャリア採用者向けの研修を導入（採用者の満足度の向上と能力の発揮）
- 2021年10月 専門コースを新設（特定分野のスペシャリストを目指すキャリアパス）

■2021年6月 本部部長へ登用
- **中途採用者（国際部長）**
- **女性（地方創生SDGs推進部長）**

■支店長では既に中途採用者、女性が多数活躍中

この挑戦が、未来となる。
変化の時代。守りに入らず、攻めに転じよう。
型にはまらず、夢を咲かせよう。
ちゅうぎんは、お客さまと豊かな未来を共創する
総合フィナンシャルグループへと進化します。
金融サービスの深化に加え、お客さまの声を心で聴きながら
多様で複雑な課題に最適なソリューションを創出します。
ビジネス領域を大きく広げる挑戦には、失敗もあるでしょう。
正解のない問いに、悩み、もがくこともあるでしょう。
それでも、わたしたちは逃げません。
この挑戦が、未来となる。個の挑戦が、未来となる。そう信じながら、
ひとつひとつの課題に、ひとりひとりが主体的に挑みます。
その先に広がるのは、幸せが循環する地域。夢が咲き誇る未来。
わたしたちは今日も、高鳴る心で挑戦へと向かいます。
ちゅうぎんフィナンシャルグループ

この挑戦が、未来となる。
ちゅうぎんフィナンシャルグループ

本資料には将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。

本件に関するお問合せ先
株式会社ちゅうぎんフィナンシャルグループ　経営企画部　清水・松尾　　TEL　：086-234-6519
Eﾒｰﾙ：souki01@chugin.jp